

成人代表10人から夢や希望を

二十歳を迎えて

ことし、20歳を迎えた成人は、市内で2,631人
うち男1,336人、女1,295人です。

市の成人式は、1月15日午前9時から吉原市民
会館、午前10時30分から富士文化センター大ホー
ルの2会場で開かれます。

この成人式を記念して、本紙特集号を発行し、
「私はこうして生きたい」というテーマで成人代
表10人から、ことしにける夢や希望などを寄せ
ていただきました。



私の職業観

大下典子さん

大野新田332～1

県外から富士市に就職して4年間、
私は勤労学生として学び、その卒業
後は更に進学道を真剣に考えた日
がありました。でもなぜかその道を
断念したのです。

理由は経済的に苦勞して得る教養
と現在の職場の魅力を天秤にかけて
おおいに迷ったあげく私は、後者を
選びました。この4年間働いて慣れ
た職場の中に、まだもっと学ばなけ
ればならない何か大きいものがある
のではないかと考えたからです。

現在では女性は、学業を終えて結
婚するまで就職の道を選ぶことが一
般化しています。女性が職業につく
ことによって持ちうる能力を社会に
生かしていくことは大切なことだ
と思います。

私は仕事をしていく中で働く女性
の本当の幸福とは何か、又働く女性
のたくましさや健康な美しさをもっ
と見出すためにもこれから働く女
性のひとりとして頑張りたい
と決意しています。

素直な人間に

春木誠一君

三ツ沢272～1



私は中学を卒業してすぐ就職しま
した。家庭の事情から進学もせず、
母の手助けをしようと一生懸命に働
いて来ました。

今日の成人式を迎えるに当って、
私はこう生きたいという信念があり
ます。それは自分自身の心を広く持
ちたい、素直に自分の心を表わした
いということです。

私は自分自身の心の弱さに何度も
くじけたことがあります。仕事を休
みたい。他の人を見てなぜ自分だけ
がこんなに苦しむのだろうと、でも
それは私の心の狭さからきたエゴに
思える。これからは、自分の氣にく
わないことでも素直に受け止めるこ
とが出来たならば、私の心の狭さを
解消し、素直な人間に成長して行け
ると思うのです。たとえそれが人に
伝わらぬとも私の思う信念をもって
生きていきたいのです。



私の生きる道

鈴木一代さん 厚原918

今は社会人2年生、地区の青年団
に入って色々な行事に参加していま
す。とっても行事が多くて、毎日毎
日行事におわれていますが、青年団
に入ってほんとうによかったと思う
のは、1人ひとり考え方が違う中で、
意見がぶつかり合い、いろんな事を
乗り越えて行く……そしてだんだん
和ができ、みんなのつながりが深ま
っていく、そんなことがあると思ひ
ます。「私の生きる道」平凡ですが
一日一日をくひなく、充実した生き
方がしたいです。そして人間的にも
素直に思いやりを持って人に接し、
誰からも好かれるような人間にな
りたいと思ひます。

親孝行を

佐野加代子さん

松岡1355-2



「家には、娘二人がいる。長女の加代子は自分の手元に置きたいのでわがままをいっても、多少のことなら許してきた。だが、妹の方は、どうしても嫁に出さなければならぬので、世間の人にも馴れるよう少しはきびしく育てたつもりだ」と父は初めて私に話してくれました。

私は一瞬、父から聞いた言葉に驚きながら、この時に今まで私が知らない父の心を見たような気がして、今までより、ずっと固い決心に変わりました。

そして、私が親を守らなければと決めたのです。

私は、娘のことを思ってくれている両親に感謝し、話のわかる、すばらしい旦那さまを見つけることが、一番の親孝行だと思っています。



最後までやり抜く

下原 東 君 富士見台1

青春時代には、何か目的というものを持たなければ、何の意味もなさないものだと僕は思います。その目的が、たとえ魅力もなく、何の価値も他人に見出せないものだとしても自分が選んだものならば、最後までやり抜くのが、本当の若者の姿ではないだろうか。

いま、自分が、こうも大らかに語れるのは目標があるからです。

しかも大きく、とても自分の青春だけで成し得るものではないことだと感じているが、たとえ如何なるものでも僕は若い力、その秘められたパワーを十分に発揮し、青年らしく、惜しまない努力と熱意で立ち向かいたい。そして一人立ちのできる人間になるために、自分の道を歩んで行きたい。

私の選んだ道

加藤栄子さん 入山瀬29-3



1年前の私は、青年団など何もわからず、ひとつひとつの行事、習い事に必死でした。行事に参加していく間に周囲の人にも慣れました。

この人たちが私に暖かい手を差し伸べて、ひっぱってくれましたので今日まで前向きに進んでこれました。

「青年は、感激することによって成長していくんじゃないか」という先輩の言葉に私も同感です。

私の一週間は忙がしくてもう少し余裕が欲しいと思いますが充実感があります。

こんな私が選んだ道は、この青年団の活動を自分のできる限り努力して続けていくことです。

私の道を歩く

鈴木律子さん 石井29



人生には誰にも自分に与えられた道があると思います。この道は登り坂もあり下り坂もある。前に進むのが困難に思われることもある。

しかし進むのをやめるわけにはいかない。やめれば何の進歩もないと私は思います。

人生の道はもどることができません。とにかくゆっくりでもいいから一歩、一歩ふみしめて、くいのない道を私なりに歩んでいきたいと思っています。

コンピューターふじ

- ・人口……………207,871人
- 男…104,186人 女…103,685人
- ・世帯数……………57,654
- (54年12月1日現在)
- ・工業生産出荷額等(53年県下2位)
- ……………9,349億円
- ・紙、パルプ、加工工場…385工場
- (うち製紙工場117工場)
- ・煙突数(10m以上)……………250本
- ・学校数……………43校
- (高校6、中学校14、小学校23)
- ・公民館数……………15館
- ・病院数……………186院
- ・自動車保有台数(県下4位)
- ……………100,578台
- ・トイレット、ペーパー製造個数
- (日本一)……………月6,000万個
- ・商店数……………4,855店
- ・東駿河湾工業用水水管橋
- (日本一)……………長さ1,040m
- ・国道1号線富士・由比バイパス新
- 富士川大橋
- (日本一)……………長さ1,528m
- ・テトラポット
- (日本一)……………重さ50t、高さ4.3m
- ・電話加入台数……………61,531台

正直に生きたい

渡辺好章君

伝法2800-2



僕は、まだ親のスネをかじっている大学生です。男は結婚して、子どもを育てるようになると、このような人生は良いものかも知れない。これでは男は家庭にしばられてしまう。

男はもっと、夢を持たなければいけないと思います。何かの本に「根性とは、決めた目標に立ち向う精神であり、それを達成するための努力から生まれた自信である」と書かれていました。

僕は、この根性を自分のものにし自分の夢を追いつづけていきたい。くらしは決して裕福ではないと思う。

しかし、その中に何かを探し出し小さな幸福を見つけたい。

20歳を迎え、その年を区切りとし僕は自分自身に強く、そして正直に生きてゆきたいと思います。



しっかりした目標を

川口路代さん

五貫島95-8

20歳を迎え、社会という世界へ入っていくことは、それなりの自分の生き方、目標を持っていかねば何もない、からっぽの人生しかないのでは……と思います。でも、目標を持つということは、私にとって大変なことであり、大切なことです。

とにかく、最初に、いろいろな資格を取ろうと思います。手当たり次第にやってみて、その中で自分に合ったもの、向いているものを見つけたいのです。そうしていくうちに自分の目標を確かなものにしていけるとと思います。

20歳、これをきっかけにして、一步一步、着実に前へ進み、若いうちにいろいろなことをやり、一まわりも、二まわりも大きな人間になりたいと思います。

悔いのない人生を

遠藤恵子さん

中丸65-1



「成人」人間にとって一つの区切りがここにあると思います。

私もいま、ここに大きな区切りを迎えています。でも、これからこのようにしようという具体的なものはまだ見い出せませんが、自分にとって悔いのない人生を生きたいと思います。これからいろんな人に出会いいろんなことを学ぼうちに、いつのまにか私の人生が決められているかもしれませんが、私にとって悔いが残らなければ、それでもかまいません。

学校を卒業して、こんなちっぽけな私でも、社会人のひとりです。

そして「成人」おとなの仲間に加えてもらいます。

精いっぱい、がんばるつもりです。

20歳になったら

国民年金に加入しましょう

大きな希望にもえ、20歳の春を迎えるあなたは、成人として新しい船出をしようとしているところです。

ところが、人の一生には、いろいろな出来ごとがおこり、喜びと悲しみをくり返しながらか生きていくことになりますから、成人としての20歳を機に、ご自分の将来をみつめてみませんか。

だれも20歳になると成人として多くの権利が認められ、また同時に義務も課せられますが、国民年金に加入することもその一つとなっています。

そこで国民年金に加入できる人は、他の年金制度に

加入していない20歳から60歳に達するまでの農業、商業、漁業などの自営業者やその家族およびサラリーマンの奥さんや昼間部の大学生などです。

また、国民年金に加入すれば、歳をとったり、障害者や母子世帯となったときに年金が受けられます。

保険料は、月額3,300円（55年4月から3,770円）ですが、月額400円の付加保険料を納める制度もあります。

あなたも自分自身のために、今すぐ国民年金に加入しましょう。くわしいことは、保険年金課 ☎51-0123 内線 263へご連絡ください。